

保護者の皆様、地域の皆様

港区立赤羽幼稚園
園長 中村 美奈子

幼稚園評価アンケートの集計結果及び改善の方向性について

日頃より本園の教育活動にご理解、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。また、保護者の皆様には、12月中に行いました「幼稚園評価アンケート」にご協力いただきましてありがとうございました。

アンケートの集計結果と自由意見、1月23日に実施した評議員会において評議員の皆様からいただいたご意見を基に、赤羽幼稚園の今後の取組についてまとめましたので、ご報告いたします。

【保護者による「幼稚園評価アンケート」集計結果の概要】

評価基準 A…達成している B…概ね達成している C…あまり達成していない
D…達成していない E…分からない

全21項目中、

○肯定的な評価（A評価・B評価）が95%以上の項目…20項目

○D評価（達成していない）があった項目…2項目

【結果の詳細と今後の方針について】

I 幼稚園運営について

<p>(1) 幼稚園は、経営計画、経営方針を分かりやすく伝えている。</p>	<p>(2) 園だより、学級便りなどの各種便り、ホームページなどの情報で教育の内容や幼児の様子を分かりやすく伝えている。</p>	<p>(3) 電話をかけたときや幼稚園を訪問した際の教職員の対応が丁寧である。</p>
<p>A 78% B 20% C 2%</p>	<p>A 93% B 7%</p>	<p>A 96% B 2% C 2%</p>
<p>(4) 教職員は、PTAや地域の活動に協力的である。</p>	<p>(5) 幼稚園は、PTA活動や保護者の活動の場を大切にしている。</p>	<p>(6) 幼稚園は、保護者や地域の協力を得て幼児が感動する体験を積み重ねている。</p>
<p>A 95% B 5%</p>	<p>A 95% B 5%</p>	<p>A 95% B 5%</p>

(7)	(8)
赤羽小学校の児童との交流や施設の活用を積極的に進めている。	子育て支援のための未就園児の活動に積極的に取り組んでいる。

- ・項目(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)で、90%を超える方からA評価をいただきました。
- ・項目(1)は、B評価が20%でした。
- ・項目(8)で、E評価が5%でした。

○幼稚園の経営計画、経営方針に関する項目(1)は、主に学期ごとの保護者会にてお伝えしております。情報発信に関する項目(2)にもありますが、今後もホームページや Twitter などを活用しながら、本園の教育活動だけでなく、経営計画、経営方針、未就園児の会や PTA 活動なども含めてタイムリーで分かりやすい情報発信に努めてまいります。

○小中学生との交流や施設活用に関する項目(7)では、高い評価をいただきました。次年度は校舎移転となりますが、引き続き併設園のよさを生かし、今年度の連携、交流を参考にして具体的な活動を工夫していきます。

○子育て支援に関する項目(8)では、数名の方からE評価をいただきました。ひよこっこの取組や就園を検討している方への園紹介の工夫など、次年度もICTを活用し、積極的な情報発信に努めます。

II 教育内容・指導について

(9)	(10)	(11)
幼児が自分から人や物などの環境に関わり、様々な体験を通して学ぶ「遊び」を大切にした教育を推進している。	幼児の人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切に学級づくりをしている。	園庭、ピロティ、裏庭、併設小学校の校庭・体育館などの環境を活用し、十分に体を動かす活動を行っている。
(12)	(13)	(14)
集団生活におけるきまりや道徳性の芽生えを身に付ける教育を推進している。	幼児が生き物や植物等の自然と関わる活動を充実させている。	小学校への就学を見通した教育内容として、聞くこと、話すこと、友達との関わり等を大切にした教育をしている。

(15) 異年齢の育ち合いや関わり合いを大切にしている教育を進めている。	(16) 様々な行事の中で、幼児が楽しんで活動する姿やその成長が感じられる。	(17) 園内研究・研修を実施し、その成果を保育の充実に反映している。

- ・項目(11)(12)(13)(16)で、90%を超える方からA評価をいただきました。
- ・項目(10)はB評価が20%、(14)(15)はB評価が10%でした。
- ・項目(13)(17)で、D評価が3%でした。

- C評価やD評価をいただいた項目については、お子さんの変容を通して教育内容や指導の成果を実感しただけでなかったものと受け止めております。一人一人のお子さんの成長を保護者の方と共有していくことができるよう、今後も保護者の皆様との連携を重視しながら、幼児理解に基づいたよりよい保育指導に努めてまいります。
- きまりや道徳性を身につけること(12)や、就学を見通した教育(14)については、幼稚園教育において、就学前に育てたい大切な内容です。話すこと、聞くこと、挨拶や姿勢、状況に応じた態度などが、園生活の中で身につけていくように指導していきます。
- 自然との関わりに関する項目(13)や園内研究に関する項目(17)については、C評価やD評価が他の項目よりも多くありました。自然との関わりは、生命尊重や自然への畏敬の念を育むためにも幼児期に大切な体験であると考えております。校舎移転後の新しい園環境においても、幼児が豊かな直接体験ができるよう、環境整備や研修、研究を進めてまいります。

Ⅲ 安全・安心について

(18) 幼稚園内や園庭の清掃など環境整備が行きとどいている。	(19) 施設・設備の安全、維持管理のための点検や整備を計画的かつ適切に行っている。	(20) 幼児が安全に生活できるよう、安全指導、避難訓練、不審者対応等、安全・防災・防犯に関する取組を十分に行っている。

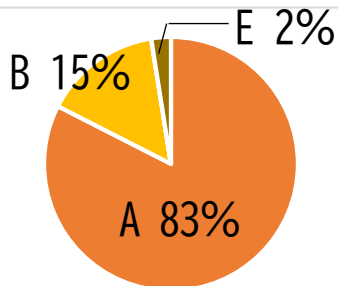
- ・項目(20)で、90%を超える方からA評価をいただきました。
- ・項目(18)は13%、(19)は18%がB評価でした。

- 園内の清掃、環境整備、施設・設備の安全、維持管理についてはB評価も複数いただきました。園舎移転前の老朽化した施設に対するご心配もあったことと思います。保護者の皆様からいただくご意見がよりよい環境づくりや安全管理の強化につながります。今後も幼児にとって安全でよりよい園環境作りに努めてまいります。
- 安全指導、避難訓練に関する項目では、高い評価をいただきました。幼児自らが危険を予測し回避する力を身に付けられるよう、教師も安全に関する意識を高くもち、日常的に指導してまいります。

IV その他

(21)

近隣の保育園・三田アカデミーの小中学校と連携し、交流活動を行い、小学校以降の生活や学習の基盤につながる教育を推進している。



・項目(21)は15%がB評価でした。

- 今年度は飯倉保育園をはじめ、近隣保育園との交流を複数回実施し、幼児だけでなく教員同士も連携しながら活動することができました。保幼小共同研修会の機会には、飯倉保育園の保育観察を通して幼児期に育てたい力について小学校の教員と共に考える研修も行いました。その他、三田中学校の生徒とのオンライン交流や、芝小学校訪問など前年度以上に関わりをもつことができました。こうした活動や取組を今後も具体的に発信し、幼児期から小学校以降の教育につながる教育を推進してまいります。
- 自由意見の中で、引っ越し後の環境変化が不安であるというご意見をいただきました。新しい園環境のよさを生かし、幼児にとって豊かな経験ができる環境になるよう、移転後の環境整備は重点課題として職員一同取り組んでまいります。
- 自由意見の中でご提案いただいた降園時間の分かりにくさ、降園時の個別連絡、午前保育の多さなどは預かり保育での対応や園児数に応じた柔軟な対応など、できるだけ改善してまいります。
- 自由意見でご指摘いただいた職員の言動や雰囲気についてのご意見は真摯に受け止め、園全体で改善に努めてまいります。
- 自由意見でご提案いただいた地域環境を生かした教育活動の検討や幼稚園給食の導入などについては、保護者の皆様のお考えも改めて伺いながら検討していきます。今後も保護者や地域の皆様に愛され、求められる園となるよう努力してまいります。

【評議員（全7名）による「幼稚園評価アンケート」集計結果の概要】

全21項目中、

- 肯定的な評価（A・B）が6名以上の項目…全21項目
- E評価があった項目…項目（5）

- 評議員の皆様からは、概ね高い評価をいただきました。
- PTAに関する項目についてE評価がありました。教育内容だけでなく、本園のPTA活動や保護者向けの講演会等、様々な取組について広く発信していくように努めます。

【自由意見】

保護者の皆様、評議員の皆様から様々な自由意見をいただきました。
たくさんのご意見をありがとうございました。

- 次年度の園児獲得につながる教育内容の発信や、幼稚園を地域に周知してもらう努力について、もっと工夫ができるのではないかと、様々ご提案をいただきました。園舎や園庭、子供たちの遊ぶ様子が外からは見えにくい環境にあるため、なかなか本園の雰囲気や日常的に地域には感じ取りにくいのではないかとのご意見もいただきました。次年度から新園舎に移転し、園庭やピロティがより道路に近くなることで、今年度以上に園の雰囲気は伝わりやすくなることが期待されます。園側の努力としても、日々の園庭開放をより広く周知し、地域の子供たちに活用してもらえようとするなど、具体的に実施できそうなことを考えてまいります。
- 評議員の先生から、首都圏に住む就学前の乳幼児に対する保護者アンケートの調査結果をお示しいただき、過去27年間と比較すると、現代は「育児負担感」や「育児の不安感」が大きく増加していることが分かりました。本園のアンケート結果も踏まえ、幼稚園として、保護者の皆様の「育児負担感」や「育児の不安感」を軽減する存在となるよう努力してまいります。
- 未就園児の会の参加者が低年齢化している実態も明らかになりました。ひよここの会を、小さなお子さんでも楽しめるような環境に整えていくことに加え、本園ならではの魅力を広く発信し、「赤羽幼稚園に来たい」と入園前から親しみを深め、数年後の入園につながるよう、実施する曜日や回数、内容の工夫をしてまいります。